

# ぐるり39

～自治調査会だより～

2016  
8

No. 035

[発行日]  
2016.8.1



【写真提供】三宅村 【撮影場所】新鼻新山付近

▶ 理事会・評議員会を開催しました……………	2	・みどり東京フォトコンテスト募集……………	7
▶ 自治調査会の調査研究を振り返る ～最近のトピックスとの関わりなど～……………	3	▶ 編集後記……………	7
▶ 多摩交流センターだより		▶ とっておきスポット～“ココ”ご存じですか?～三宅村…	8
・多摩発・遠隔生涯学習講座 8・9月開催予定の講座案内…	4		
・東京雑学大学 9月講義案内……………	4		
・第20回多摩の歴史講座 多摩の名主たち……………	5		
▶ オール東京62市区町村共同事業みどり東京・温暖化防止プロジェクト			
・市町村助成事業紹介……………	6		
八王子市 地球温暖化防止普及啓発イベント			
立川市 2016 環境フェア			
瑞穂町 第7回残堀川ふれあいイベント&ふれあいウオーキング花苗配布事業			

**Contents**  
8月の内容

# 理事会・評議員会を開催しました

平成28年5月に開催した理事会・評議員会で承認・決定された主な内容を簡単にご紹介します。

## I. 平成27年度事業報告及び収支決算（下記の内容が承認されました。）

※下記の内容（一部を除く）は、当調査会ホームページ（<http://www.tama-100.or.jp/>）にて閲覧・ダウンロードすることができます。

### 【事業報告】

#### 1. 調査研究事業

- ①市町村の広域的・共通の課題についての調査研究（5テーマについて調査研究報告書を発行）
- ②市町村職員の身近な疑問等に関する調査（情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」に掲載）
- ③毎年度実施の調査（多摩地域データブック2015（平成27）年版 他3件を発行）

#### 2. 共同事業

- ①多摩・島しょ広域連携活動助成事業
- ②多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業
- ③多摩・島しょわがまち活性化事業助成事業
- ④みどり東京・温暖化防止プロジェクト
- ⑤協賛事業（愛らんどリーグ）

#### 3. 普及啓発事業

- ①出張フォーラム実施（調査研究結果の市町村への還元）
- ②シンポジウム「自転車のチカラでまちづくり」開催
- ③情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」発行
- ④機関紙「ぐるり39～自治調査会だより～」発行

#### 4. 広域的市民活動への支援（多摩交流センター事業）

- ①交流の場の提供
- ②広域的な市民ネットワーク活動等への助成
- ③生涯学習講座開催（TAMA市民塾との共催）
- ④多摩地域に関する情報の発信 等



### 【収支決算】（貸借対照表）

資産の部		負債・正味財産の部	
流動資産	1 4 3, 6 0 2 千円	負債の部	5 2, 5 1 6 千円
固定資産	4, 5 8 4, 9 3 9 千円	指定正味財産	3, 7 9 0, 0 0 0 千円
		一般正味財産	8 8 6, 0 2 4 千円
合計	4, 7 2 8, 5 4 1 千円	合計	4, 7 2 8, 5 4 1 千円

※各数値を四捨五入しているため、表内の合算値と合計欄の値が一致しない部分があります。

## II. 評議員の選任

評議員の任期満了に伴い、新たに次の方が選任されました。

清原慶子（三鷹市長）	・北川穰一（昭島市長）	・長友貴樹（調布市長）	・石阪丈一（町田市市長）
小林正則（小平市長）	・大坪冬彦（日野市長）	・井澤邦夫（国分寺市長）	・高橋都彦（狛江市市長）
尾崎保夫（東大和市長）	・丸山浩一（西東京市長）	・青沼邦和（新島村長）	・浜川謙夫（神津島村長）
山下奉也（八丈町長）			



# 自治調査会の調査研究を振り返る ～最近のトピックスとの関わりなど～

当調査会では、昭和61年の設立以来、200件を超える調査研究を実施してきました。対象テーマは、多摩・島しょ地域の全市町村からの要望や昨今の行政課題を踏まえつつ、少し先の将来に重要課題となると考えられる事項を選定しています。

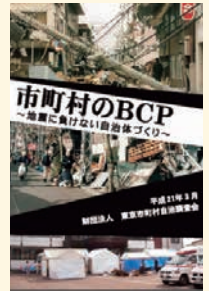
報告書は毎年度全市町村へ送付しており、その活用方法は各市町村に委ねられています。各々の市町村が置かれた状況は様々で、それぞれの実情に即した施策が必要であるからです。

4月に発生した熊本地震や5年前の東日本大震災など、大規模地震が頻発する状況下、自治体の災害対策のあり方に改めて注目が集まっています。そこで、本稿では、当調査会の過去の調査研究を振り返り、それが最近のトピックスである「災害対策」とどのように関わっているのかを明らかにします。そして、今後の当調査会が何を目指して調査研究を行っていくのかということについても紹介していきます。

## 1. 市町村のBCP～地震に負けない自治体づくり～（平成20年度）

平成20年度に実施したこの調査研究では、大規模な地震を想定した市町村のBCP（Business Continuity Plan＝事業継続計画）の策定手法や運用方法を提示するとともに、各市町村でのBCPの策定手順に関する作業シートを作成しました。

報告書発行の約2年後に発生した東日本大震災は、民間企業だけでなく、自治体においてもBCPの重要性を改めて浮き彫りにしました。



## 2. 東日本大震災における多摩・島しょ地域自治体の対応と課題 ～災害時の相互応援協定と被災地派遣職員の経験活用～（平成23年度）

平成23年度、東日本大震災の発生から約半年が経過した時点で実施したこの調査研究では、多摩・島しょ地域市町村におけるBCP策定や自治体間の相互応援協定などの進展が明らかになりました。

BCPは被災を前提としており、災害対策には住民参加が欠かせません。この調査研究では、被災地に派遣された職員の経験を、住民の防災意識向上の取組に活用する方法についても言及しています。

## 3. 多摩・島しょ地域における火葬場の需給及び運営に関する調査研究（平成26年度）

平成26年度に実施したこの調査研究では、多摩・島しょ地域等の火葬場の現況調査や需給予測を行い、火葬場の効果的な運営方法や大震災時の火葬需要への対策について考え方を提示しました。今後は、平時ですら多くの自治体で火葬場が不足すると予測されています。大規模災害時にはこれに加えて一時に多数の死者が発生し、火葬が困難を極めます。

災害時といえども、親族としては尊厳をもって死者を葬りたいと願うことから、火葬能力が限界に達するような状況下でいかに円滑な火葬体制を整備するか、自治体と住民がともに正面から向き合うべき課題です。

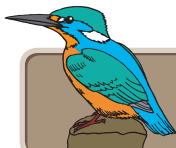


## 4. 今後に向けて

基礎自治体の行う災害対策は、過去の経験などを活かして、住民との協働によって取り組む必要があります。また、災害時に地域の拠点となる公共施設の整備など、長期的に取り組まなければならない課題もあります。改めて、災害対策のあり方について考えていただくことが、より良い市町村行政につながっていくと思います。

震災対策は、関東大震災の火災→阪神淡路大震災の耐震→東日本大震災の津波など、様相が変わってきています。同じテーマでも時代によって求められるものは変化していくため、当調査会としては、行政の現場である市町村がタイムリーに施策を展開できるように、常に「一歩先を見据えた」課題を発見し、調査研究に取り組んでいきたいと考えています。

※本稿に紹介された調査報告書は、いずれも当調査会ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) にてダウンロードできます。



## 多摩交流センターだより

インターネット  
放送による

# 多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催  
後援：武蔵野市教育委員会



8・9月開催予定の講座案内

150回

題名

## 統計が語る日本の大学

日時 平成28年8月11日(木・祝) 14:30から約1時間

講師 大橋 秀雄 氏(東京大学・工学院大学名誉教授、工学博士(Dr.-Ing))

内容 国際化がこれほど進んでも、日本の大学は諸外国と比べてどこか  
違っている。その違いを、大学の入学年齢分布、卒業率、就職活動  
開始時期の三つの統計指標を国際比較して可視化する。現実を直視  
すると、日本の大学が、日本独自の雇用慣行(終身雇用、年功序  
列)と一体となって人材を送り出してきた歴史が浮かび上がる。



151回

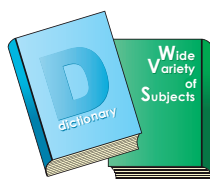
題名 世界を動かした石見銀山 日時 平成28年9月8日(木) 14:30から約1時間

講師 渡辺 辰朗 氏(島根県遣島使、関東石見銀山会会長)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

## 東京雑学大学

平成28年9月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は9月8日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	会場
第1053回	9月1日(木) 14:00から	島津重豪(しげひで)の 吹上御庭拝見	松尾 美恵子 氏 (学習院女子大学名誉教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1054回	9月8日(木) 14:30から	世界を動かした石見銀山	渡辺 辰朗 氏 (島根県遣島使、関東石見銀山会会長)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1055回	9月15日(木) 14:00から	富士山世界遺産登録を後押しする 富士山歌集制作について	小山田 和男 氏 (富士ハウス工業(株)代表)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1056回	9月22日(木・祝) 14:00から	介護と介護保険 ～自分のことができなくなったとき	五十嵐 強 氏 (ファイナンシャルプランナー、 "あったか生活設計" 副代表)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1054回は、第151回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

たましん地域文化財団・  
東京市町村自治調査会共催

# 多摩の歴史講座

第20回

## 多摩の名主たち

江戸時代に各地で村役人(名主・組頭・百姓代)を務めた豪農たちは、領主への年貢収納や法令遵守のための村請制の責任者であるだけではありませんでした。高い経済力で村民を守り、諸役の免除や訴訟などで領主や周辺の村々との交渉や調整を行う能力を持ち、また婚姻や文化活動などを通じて、村役人同士で強固なネットワークをもっていました。

本講座では多摩各地の名主たちが地域のリーダーとしてどのような存在であったのかを紹介します。

### 第1講

9月23日(金) 13:30~15:30

#### 「熊川村名主石川家に見る幕末維新期のリーダー像」

講師：牛米 努 氏(中央大学文学部兼任講師)

### 第2講

10月7日(金) 13:30~15:30

#### 「武蔵野新田の惣代名主—関前村井口家を中心に—」

講師：米崎清実 氏(武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館学芸員)

### 第3講

10月21日(金) 13:30~15:30

#### 「古新田と武蔵野新田の豪農—小平から豪農のヴァリエーションを考える—」

講師：三野行徳 氏(国文学研究資料館プロジェクト研究員)

### 第4講

11月4日(金) 13:30~15:30

#### 「連光寺村名主富沢家をめぐる地域と社会」

講師：桜井昭男 氏(淑徳大学アーカイブズ主任専門員)

### 第5講

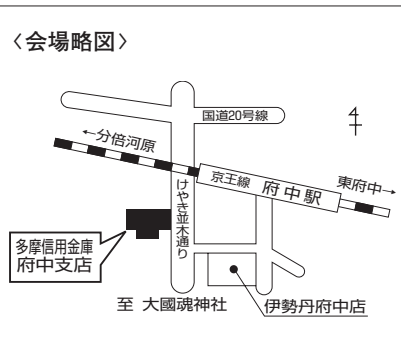
11月18日(金) 13:00~15:45

#### 見学会「小島家の学問とその伝播—信州蚕種商との交流から—」

講師：小島政孝 氏(小島資料館館長)

会場：小島資料館(町田市小野路町950)

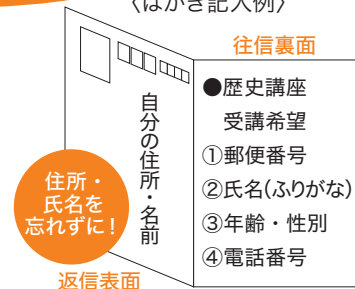
13:00 小島資料館集合、小島資料館・小野路一里塚・小島家墓所・小野神社・小野路宿里山交流館見学(行程1.3km)、15:45現地解散



今回は座学の会場も変わります!!  
上記の会場略図をご参照ください。

- 場 所 多摩信用金庫府中支店4階会議室(京王線府中駅南口2分)  
第5講のみ小島資料館(小田急線・京王線・多摩都市モノレール多摩センター駅からバス10分または小田急線鶴川駅からバス20分で「小野神社前」下車、徒歩1分)
- 参加費 無料、第5講のみ小島資料館入館料600円がかかります。
- 申込方法 記入例を参考に往復ハガキで一人様1枚でお申込みください。
- 申込締切 平成28年9月2日(金) 当日消印有効
- 定 員 100名(定員を超えた場合抽選となります。)
- 申 込 先 〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階  
多摩交流センター内「多摩の歴史講座」係
- お問い合わせ 《講座内容について》たましん地域文化財団 TEL042-574-1360  
《お申込みについて》多摩交流センター TEL042-335-0100

〈はがき記入例〉



### 「多摩交流センターだより」の問合せ先

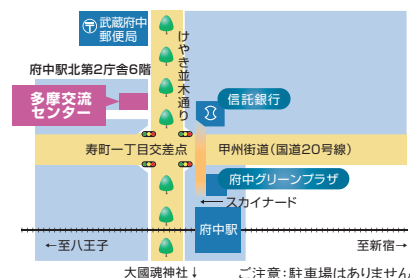
#### (公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。







オール東京62市区町村共同事業

## みどり東京・温暖化防止プロジェクト

### 市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本プロジェクトの助成金を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施されている事業を紹介します。

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



シーナ

## 1 八王子市

### 地球温暖化防止普及啓発イベント

八王子市では、世界で様々な影響が心配される地球温暖化問題について考え、一人ひとりが行動するきっかけとなるように、毎年12月に「地球温暖化防止普及啓発イベント」を開催しています。

昨年度は、気象キャスターの平井信行さんの講演会と環境映画「メアリーと秘密の王国」を上映しました。今年度は、12月10日(土)にオリンパスホール八王子にて、講師をお招きしての環境講演会と環境映画上映会の2部構成で実施する予定です。

地球温暖化問題に対し、市民の皆さんに広く関心を持ってもらうため、このようなイベントで周知啓発を図っています。

【問合せ先】八王子市環境政策課 TEL:042-620-7384



Tama

八王子市

## 2 立川市

### 2016環境フェア

環境フェアは、環境問題を身近な問題として捉えてもらうため、多くの人に「環境にやさしい生活」の実践を促すきっかけを提供することを目的として実施しています。

平成28年度は、6月5日(日)に立川市子ども未来センターで「立川まんがぱーく大市」と合同で開催しました。各出展者が、子どもたちに体験を通じて環境についての意識を促すよう工夫を凝らし、自然素材を用いた工作や環境を題材にしたクイズ、それぞれの活動内容の紹介などを行いました。また、イベント全体の企画として、かるた大会や水鉄砲合戦も行いました。

【問合せ先】立川市環境対策課 TEL:042-528-4341



Tama

立川市

## 3 瑞穂町

### 第7回残堀川ふれあいイベント&ふれあいウオーキング花苗配布事業

瑞穂町では、5月8日(日)に町内を流れる「残堀川」の最上流部にある「狭山池公園」で「第7回残堀川ふれあいイベント&ふれあいウオーキング」を開催しました。

会場は、出店や催し物で賑わい、多くの来場者がイベントを楽しんでいました。また、緑化推進のPR活動として、ふれあいウオーキングに参加された方々に花苗を配布し、受け取られた多くの方から喜びの声をいただきました。

本年は、そのほかに町内各地への花植え活動や、秋に開催される「産業まつり」での花苗の配布を予定しています。

【問合せ先】瑞穂町建設課 TEL:042-557-7659



Tama

瑞穂町



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

# みどり東京フォトコンテスト

応募締切

9月30日<sup>金</sup>まで

(当日消印有効)

本プロジェクトでは、「残しておきたい、もっと増やしたい、東京のみどり」をテーマにフォトコンテストを実施します。あなたの写真で東京のみどりを伝え、みどりを見直すきっかけにつなげてみませんか。

**応募方法** 応募用紙(コピー可)に必要事項を記入し、作品の裏側に貼ってご応募ください。※応募用紙は「みどり東京フォトコンテストホームページ」からプリントできます。

**応募部門** ①街中みどり ②公園みどり  
③里山・島みどり ④湖・滝・海・川みどり  
⑤自由のみどり ⑥環境活動

**応募サイズ** はがきサイズ～ワイド4切

※ご注意ください 被写体が人物の場合、ご応募に関しては必ず被写体ご本人(ご本人が未成年の場合は親権者)の承諾を得てください。他人の著作権・肖像権を侵害するような行為が行われた場合、それに関するトラブルの責任は一切負いかねます。

【詳しくはホームページをご覧ください。】

みどり東京フォトコンテストホームページ

<http://all62.jp/midori-photocon/>

## 作品応募先

〒102-0075 東京都千代田区三番町1-5 B1  
一般社団法人日本フォトコンテスト協会内  
みどり東京フォトコンテスト事務局

## 応募に関するお問い合わせ先

みどり東京フォトコンテスト事務局  
(日本フォトコンテスト協会内)  
TEL.03-3230-2610(平日10:00～18:00)



## 編集後記

- 先日、帰宅途中に、国分寺崖線と呼ばれる地域を野川に沿って、数キロメートル歩いてみました。国分寺崖線は、立川市から国立市、国分寺市、府中市、小金井市、三鷹市、調布市、狛江市、世田谷区を通して大田区まで続く、延長約25km、高さ10～20mほどの崖の連なりです。崖線は、ハケとも呼ばれ、国分寺崖線にあっては、野川の流れとほぼ並行していますが、実は多摩川が何万年もかけて武蔵野台地の南側を削ってきた河岸段丘です。
- 崖線沿いには、湧水、緑地をはじめ、歴史遺構などが数多く点在しています。都内の湧水の約1割がこの崖線に集まっているとされ、澄み切った水が集まる野川には、多種多様な植物、淡水魚や鳥等が生息しています。白鷺が羽を休めているところに、カワセミが飛来する光景などは、まさに豊かな自然の表れだと思います。
- また、川沿いに広がる緑地では、元気よく野球やサッカーを楽しむ小中学生や、川辺でセリなどの野草を観察する方にお目にかかりました。このような場面に身を置いていると、東京にいることを一瞬忘れてしまうほど、自然が豊か

で、心が落ち着くスポットであることを実感します。

- 当調査会は、市長会、町村会等と共同して、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において、「生物多様性の保全に関する研究」事業に取り組んでいます。
- 本事業では、研究会に参加する自治体職員が、地域特性を活かした生物多様性地域戦略を策定できるように、先進的な取組を行う都内自治体への見学をはじめ、都内を地形・水系別に区分し、各地域での課題や対応の方向性についてグループワークにより議論を深めています。
- 2年目となる本年度は、各グループのワークショップにより、自治体単独又は共同の具体的な取組事例である「生物多様性地域戦略検討モデル」の作成に取り組んでまいります。
- 本事業を通じて、各自治体が早期に生物多様性地域戦略を策定し、各自治体の特性に沿った取組を推進することで、様々な生きものが棲む、豊かな自然とその恵みを次世代に贈り届けたいと願っています。

(M.M)





# とっておきスポット

## 第23回 三宅村

“ココ”  
ご存じ  
ですか?

三宅村といえば、表紙のようなバードアイランドを連想するかもしれないけど、  
今回はわたげのボクが「三宅村レクリエーションセンター」を紹介するよ。



三宅村レクリエーションセンターは、廃校になった中学校の体育館を再利用して完成した施設で、日本最大級のクライミング施設なんだって。

雨などの悪天候でもできる屋内スポーツの施設として、クライミングウォールの整備を進め、平成23年度にオープンしたんだ。

その後、平成27年度に新たなウォールを増設して、今年3月、三宅島に日本最大級のクライミング施設が誕生したんだよ。

ボルダリングウォール9つ、リードクライミング5つ、トプロープ用ウォール1つと、たくさんのルートが設定されていて、初心者からトップレベルの方まで、幅広く楽しめるんだ。

レンタル用品も完備されていて、運動のできる服装なら、グループでも1人でも気軽に利用できるよ。

三宅島の大自然とクライミングウォールで、新たな島時間の過ごし方を体験してみたいよね。

みなさんもぜひ、ふわっと行ってみたい!



### 【現地案内】

#### ◎三宅島へのアクセス

《航路》竹芝桟橋から大型客船で約6時間40分

《空路》調布飛行場から約50分

#### ◎三宅村レクリエーションセンターへのアクセス

- ・三池港から車で約10分
- ・三宅島空港から車で約5分
- ・バス停「坪田」から徒歩約2分



【情報・写真提供】 三宅村観光産業課 TEL 04994-5-0981(代表)

【発行日】平成28年8月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】岸上 隆

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。